



ぼらんていあ通信

12月号
通巻 No. 529

発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会 2025年12月23日

連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内

TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: sagamiva@feel.ocn.ne.jp HPアドレス: https://sagamiva.info

ほかほかふれあいフェスタ2025 障害者週間キャンペーン

11月29日(土) 12:00~ サンデッキ相模大野で開催
たくさんの拍手に包まれて、パフォーマンスを披露♪

相模原市は、市民の躍動感に障がい
や障がいがある人にに対する理解を深
めていただき、障がいの有無にかかわ
らず全ての人々が共に支えあって生
きる共生社会の実現に向けて「ともに
支えあい生きる社会」のキャッチフレ
ーズのもと各種事業を推進している。

ほかほかふれあいフェスタ実行委
員会は、相模原市の趣旨に伴い、11月
29日にほかほかふれあいフェスタ冬
バージョンとして「障害者週間キャンペ
ーン」を開催した。当日は前日と比
べ気温は5度低く、寒い中でのスター
トとなつたが、相模大野のサンデッキ
では歌やダンスなど4団体がパフォ
ーマンスを繰り広げ、生活介護サービ
ス事業所「のびやか」さんの自主製品
の木工品や陶器商品の販売、また、障が
いや福祉について理解を深めるため
のチラシや冊子を通行人に配り啓発
活動を行つた。

恒藤実行委員長の
「市民一人ひとりが
支えあう社会を目指
しましょ」との挨
拶後、まず、ヒップ
ホップダンス
「S. N. D. F」
から始まつた。
このグループは幼
児から大人まで約80



名が4グループに分かれ、軽快な曲に
合わせて踊るもので、幼児たち4人の
踊りは素晴らしいだった。特に小さな子
が3人の踊りを見ながら合わせてい
て、このしぐさが面白く観衆も見どれ
ていた。また、3人はこの児童の動きを
見ながら避けて踊り素晴らしかった。
この4人は成長して素晴らしいダンサ
ーになると想つた。その他ソーラン節
5人、中、高生5人、高学年2人が踊つ
てくれた。

次はOSバンド
演奏「ウクレレマ
イスターーズ」。メ
ンバーは元座間養
護学校の仲間でウ
クレレ3人、ギタ
ー1人、ドラム1
人と高く澄んだ声
のボーカルの女性の6人構成。歌は『函
館の女』『ひまわり』『ライノカタチ』『ア
ンパンマンの歌』『またあつ口まで』など
7曲、8曲。皆、素晴らしい踊りを披露した。



最後はバンド演奏
「チョップステイツ
クス」。ボーカル
ギター、ウクレレ、リ
ト、ドラムなど、リ
ズム感あふれた演奏
だった。このチーム
も相模原中央支援学
校の仲間でリーダーの人は今高3で小
学校の先生をしていぬつしい。一人大
学生のボーカルに尋ねたところ彼
は高校の先生で4年目26歳でテンポ
の良い歌を一人は歌つてくれた。素晴
らしい曲ばかりだった。

最後になりますが、若者サポートス
テーションの6名の参加の皆様、最後
までボランティアをしていただきあり
がとうございました。お陰様で最後を
締めくくることができました。皆様あ
りがとうございました。(高橋)
★写真は「若
者サポートス
テーション」
の皆さんに撮
影していました。
いつも人気!「のびや
か」さんの自主製品
あり、今年はイ
ンフルエンザが
流行つており半
年から大人まで約80

いつも人気!「のびや
か」さんの自主製品

ぼらんていあ通信

2025.12.23

「傾聴ボランティア懇談会」開催される！



各グループとも熱心に情報交換を！

午前10時から渡邊亮さんの司会により開始、合わせて次の配布資料の説明があつまつした。

①懇談会次第 ②参加者名簿 ③事前アンケート結果（欠席者も含めた全員の活動に対する感想、聴きたいこと）④傾聴ボランティア活動の基本姿勢 ⑤傾聴活動報告書の記入例 ⑥傾聴活動フローチャート ⑦傾聴ボランティアと担当利用者名簿

参加者は15名、住所の近い3グループに分かれ、グループリーダーには傾聴委員が入り最初に自己紹介をしました。名前と住所から入り、話をすりついで実際の活動で

11月28日（金）あじさい会館6階ボランティア活動室にて久しぶりに傾聴ボランティアの仲間が集まり「傾聴懇談会」が開催されました。同じ活動に参加してこてもなかなか本音で話しきる機会がないことから、傾聴ボランティアメンバーの懇談会を開いてほしいといつづり希望を沢山いただき開催されました。年々一人暮らしの方や認知症のため話相手がないなど傾聴の「希望」がケアマネージャーや家族の方から多数寄せられますが、傾聴ボランティアのメンバーも33名となりました。ボランティア協会の傾聴ボランティアも10年を超えて運営ボランティアと並び二年活動です。

午前10時から渡邊亮さんの司会により開始、合わせて次の配布資料の説明があつまつした。

①懇談会次第 ②参加者名簿 ③事前アンケート結果（欠席者も含めた全員の活動に対する感想、聴きたいこと）④傾聴ボランティア活動の基本姿勢 ⑤傾聴活動報告書の記入例 ⑥傾聴活動フローチャート ⑦傾聴ボランティアと担当利用者名簿

参加者は15名、住所の近い3グループに分かれ、グループリーダーには傾聴委員が入り最初に自己紹介をしました。名前と住所から入り、話をすりついで実際の活動で

困っておられる方を早速出しました。それぞれのケース毎に自分が何とかしてか何か話しきり、グループ討議の結果を発表し合いました。

★Aグループ

- ・話題がないと

→小中学校の悪い出来を話してもかわいい。

- ・認知症の方には

→興味のあつまつないじみ話を。

- ・パートについて話す

→報告書の記入例はあつがたい。（原則は田田）

- ・健康状態で待たれる
→補聴器がなかなか装着できない。

★Bグループ

- ・女性の利用者には女性のボランティアがよい。
・女性チームなので欠席された方にフォローが必要



なお、当口部より参加できなかつた方に後日資料を配布することになりました。体験談発表では松原俊さんから認知症で同じ話を毎回真剣に傾聴する」との大切さと、渡邊亮さんからの話の少ない方への傾聴活動例を紹介いただきました。

グループ内でメールアドレス交換をしたう今後の交流を約束して解散しました。

（荒谷）

1月の記念日は？

小倉義男

1月6日は、まくらの日です。

千葉県柏市に本社を置き、枕を中心とした寝具のインターネット販売などを手がける「まくら株式会社」が制定。毎日使う生活の中でも身近な枕に日頃の感謝を込めて、その大切さを見直すのが目的。

日付は枕を英語でpillow(ピロー)と呼ぶことから1をピンの「ピ」と読み、6を「ロー」と読んで「ピロー」となる

1月6日に。

【出典(一社)日本記念日協会より参照】



小倉画

※枕は自分に合ったものが一番ですね。

クイズに挑戦

- ×問題です。○か×かで答えてくださいね。
- ①コウモリは頭を上にして立つことができない。
 - ②松坂牛の読み方では「まつざかめい」である。



市内活動グレーパ訪問記

オジャマシス

聞こえない人・聞こえない人も

安心して暮らせる相模原市

聴覚障害への理解や「手話通訳」という活動
方法を伝える『手話通訳』について活動



話し方も笑顔もとても
優しい森さん

相模原市ホームページ
表の森以津美ひだ。現在
在相模原市に登録され
ている手話通訳者19

11月15日～26日の12日間、「トコンピック」が東京で開催された。(この大会は、聴覚障害のあるアスリートのための国際総合スポーツ競技大会)、「トコンピック」は「耳が聞こえない」という意味。オリンピックひとくわせて「トコンピック」という名前となつた。

今回の東京大会は、初の日本開催であり、開催100周年となる記念大会でもあつたため、各地で大会の盛り上げや周知活動が行われた。相模原市では、開会に先立つ11月24日(日)に「アコオ橋本店」にてトコンピックキャラバンカーが登場し、式典が行われ、子供連れの家族等の買い物客に、機運を盛り上げるPR活動が行われた。(写真参照)

競技のルールはオリンピックと同じ同じだが、スタート音などのやわらかトランプや旗を用いなど、視覚的な工夫によって競技の進行がなされる。選手やスタッフが田舎者ミコトーションを図るためにはぜひみんなサポートが必要だ

が、なかでも選手と指導者やスタッフとの意図疎通・情報交換などには「手話通訳者」が欠かせない存在だといつ事から、相模原市の情報保障の実際を取材



ったのは、「相模原市登録手話通訳者の会」代表の森以津美ひだ。現在相模原市に登録されている手話通訳者19

歳の一人として講演会・会議など公共団体主催の場や、病院や学校、結婚式など個人の依頼に応じて活動している。

相模原市の年間派遣件数は年度によって少しずつはあるが、大体100件前後を19名の手話通訳者が対応している。個人によって取扱いられる件数はさまざまだが、平均してひと月に10件ほどの件をしたところ計算だ。

講演などには内容によっては専門用語のト調べなどにかなりの時間を費やすことが多い。

森さんは「ひとたび職業の方も回りだし恥じますが、事前準備は必須です。例えて調べしたりする、僅かしか使えないでも準備を厭つ通訳者は少なく思いますが、事頃は高齢・障害者支援課といった部署から派遣依頼を受けているのですが、数年前から支援課に派遣コーナーインスターが配置され、また、聞こえない職員の配属もあり、その影響で手話で会話のできる職員が増えたりと、以前と比べると風通しは良くなったように感じます。これを更に進めて…」と、話す通訳者の労働環境や当事者の抱くべき問題などに及び、これまで手話題が出てきた。限りれた紙面の都合上、すべてを紹介できないのが残念だ。

最後に「これから田舎者や田舎を回り、「通訳者の働く環境やみんなが住みよろ社会を田舎して活動していくのも」とのこと。「誰もが手話通訳者のよろず専門性を田舎さなくて済む、例えば挨拶程度の簡単な手話を使える人がもっと増えれば、と思ふます。最近はスマホでの筆談でも「手話通訳」は取れるが、「手話通訳」の方法はまだあるのであから、もっとお互いが関わるを持つてみたい社会になつて欲しいと思います」

大切な社会であり、関わる人口だと。それが障がいに対する壁を乗り越へ第一歩だと、ボランティア協会の一員として、今、自分にできることを探していく所思つた。

市だ専門職としての活動に加えて、他の団体と連

携しての活動も行つてこまです。相模原市では、聴覚障害者に対する理解を深め、生活環境の向上を目標とした組織された「クローバーの会」という団体があります。これは、当事者団体である「相模原市聴覚障害支援協議会」「ZPO相模原市難聴者協会・十の会」と支援者団体である「相模原市登録手話通訳者の会」「相模原市登録要約筆記者の会」の4団体で構成されており、相互に連携しながら、社会への周知や要望を行政機関に提出したりしている。

私は高齢・障害者支援課といった部署から派遣依頼を受けているのですが、数年前から支援課に派遣コーナーインスターが配置され、また、聞こえない職員の配属もあり、その影響で手話で会話のできる職員が増えたりと、以前と比べると風通しは良くなつたように感じます。これを更に進めて…」と、話す通訳者の労働環境や当事者の抱くべき問題などに及び、これまで手話題が出てきた。限りれた紙面の都合上、すべてを紹介できないのが残念だ。

最後に「これから田舎者や田舎を回り、「通訳者の働く環境やみんなが住みよろ社会を田舎して活動していくのも」とのこと。「誰もが手話通訳者のよろず専門性を田舎さなくて済む、例えば挨拶程度の簡単な手話を使える人がもっと増えれば、と思ふます。最近はスマホでの筆談でも「手話通訳」は取れるが、「手話通訳」の方法はまだあるのであから、もっとお互いが関わるを持つてみたい社会になつて欲しいと思います」

大切な社会であり、関わる人口だと。それが障がいに対する壁を乗り越へ第一歩だと、ボランティア協会の一員として、今、自分にできることを探していく所思つた。



ぼらんていあ通信

2025.12.23

理事会報告

- 報告・連絡事項
- 広報委員会

- 「ぼら通」11月号を11月25日に発送。参加者はボランティア会員のみ。
- ホームページFacebook上に11月号を掲載。

〈HCO委員会〉

- 福祉有償運送登録更新のため、相模原市に関係書類を提出済み、本申請は1月15日予定。

〈事務局委員会〉

- 令和8年4月に開催の桜まつりへの体制について。

〈講座検討委員会〉

- 春講座(令和8年2月)開催への準備・検討について。夏講座について。夏講座は令和8年6月15日、12日、19日の3回シリーズでテーマは「傾聴」について。講師から快諾いただいた。

〈傾聴委員会〉

- 11月28日(金)に傾聴ボランティア15名が参加し懇談会を開催した。

〈映像企画実行委員会〉

- 11月講座で工の活動の動画を使用した。

- 1月18日開催の「新成人を祝つる」のイベント撮影を担当する」と一緒に行なわれた。

2. 外部会議報

- 相模原災害ボランティアネットワーク運営委員会・相模原市社会福祉事業団理事会・HCO委員会とまつり

- 審議事項

- 今後のボランティア活動の動向や理事会で継続審議をおこなうとしていることを確認した。

次回理事会 2026年1月14日(水) 13時30分より



相模原ボランティア協会 2026年1月の予定

日	時間	内 容
8(木)	13:00~	広報委員会・ぼら通部会
9(金)	13:30~	高齢者住まい探し相談会(緑区)
11(日)	16:00~	幸せの黄色いレシートキャンペーン(イオン橋本店)
14(水)	13:30~	理事会
15(木)	10:00~	講座検討委員会
17(土)	13:00~	事務局・ハンディキャブ合同委員会
	15:00~	ハンディキャブ委員会
21(水)	14:00~	映像企画実行委員会
27(火)	10:30~	ぼら通1月号印刷
	13:30~	ぼら通1月号発行



※事務局年始の休みは1月4日(日)までです。

事務局からのお知らせ

▼年末年始のお休み
事務局は
12月27日(土)から
2026年1月4日(日)
までお休みとなります。
新年は1月5日(月)から業務
を開始します。
よろしくお願いします。

ボランティア協会後援
講座のご案内



開催日：令和8年2月1日(日)

会場：相模原市民会館 3階 第1会議室

時間：開場午後1:00 開演：午後1:30

講演：午後1:30～4:00

質疑応対：午後3:30～4:00

*手話通訳・要約筆記あり

「デフリンピックの過去・現在・日本の未来」

- ・デフリンピックについて(歴史など)
- ・日本でおこなう意義について
- ・デフリンピックが終わった後のレガシーについて

講師：河原雅浩 氏



一般社団法人 神奈川県聴覚障害者連盟理事長

公益財団法人 神奈川県聴覚障害者協会事務局長

主催：NPO 法人れんきょう

(相模原市障害児者福祉団体連絡協議会)

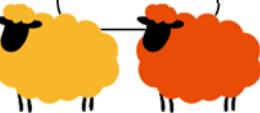
参加費：無料(先着100名)

ぼらんていあ通信

会員のひろば

「おはな書いたよ」「街」一人で出かけやみのな
たたか「ローラー」だ。
じがしてたら、「やれ書こなすよ」とか、ま
じ差しがあるとて車道の方へ出でこなはつていた
時に「そりは車道だから危ない」と車をかけて
くれる人がいました。本当に助かりました。

小倉 麟男
おぐり よしの



中央区光が丘の「児童申込書」
縁あって、ぼらんていあ通信の「児童の記念日」の記事をも
う3年以上に亘ると思いますが、書かせてもらつて
います。毎回「申込したな記念日」といふかと、頭
を悩ませてゐります。

実は私は、13年近く縁内障にかかり、最初
はまだ左眼が普通に見えていたので、あまり不自由
さを感じておりませんでしたが、段々と左眼の方も
悪くなり、今では家の中では柱などにぶつからなが
りも、何とか一人で歩いておりますが、外に出ると
なるべくなかなか難しい状況になつてしまつた。
今年になつて、ようやくカイドヘルパーをつぶ
つになり、やさしくて外出ができるようになりましたが、
急に近くへ買ひ物や用事で出かける時やカイドが
見つからない場所ばかりで、無理して出かねるより
なじむにならぬ。

相模原市では2024年に『相模原市人権尊重の
めぐらべ条例』が定められ、障がい者も健常者も
共に支え合い尊重し、誰一人取り残さない共生社会
の実現を目指してます。

実際に障がい者として立場になつてみて初めて、
以前よりは生きやすくなつてわたくしなんだ感じがする
日々の頃です。

先ほな書いたよ」「街」一人で出かけやみのな
時、視野が狭いので障がいがなかなか見つかりず、ま
じがしてたら、「やれ書こなすよ」とか、ま
じ差しがあるとて車道の方へ出でこなはつていた
時に「そりは車道だから危ない」と車をかけて
くれる人がいました。本当に助かりました。

ただ、人にひつぱりかつて歩回りも間違つて通
り過ぎてしまひ場所があつます。
困つて歩く人がつたり、やさしく歩くと躊躇つて歩を
かかへくれる社会になればここなど憩つてしま
す。

ただ私は、人に助けてもらひがつたばかりで、自分
で歩けないと SOON 歩回りや歩くのがもつともつておつ
ます。

助け助けられた共生社会の実現に向かへ、できる
ことかなこと憩つておつが。一歩ずつ進めていた
ところなど憩つておつが。

わたしのまことに、歩くは躊躇つて歩をかかへ
るが大切だと憩つてしまふます。

★記念日、申込楽しう読んでます。これかわゆ
ふしふね願つたします。(伝報系によつ)

クレバの答へ



情報



若者の文化祭を楽しんでください！



ホッとのメンバー製作品！

ぼらんていあ通信の発送作業や、ほかほかられあいフェスタ、また障害者週間キャンペーンなどのイベントでお手伝いいただいている「さがみはら若者サポートステーション」さんが、文化祭を開催します。

おいでよ！ ホッとな文化祭

～ここはみんなのショールーム～

日時：2026年1月31日（土）

時間：10時～15時30分

場所：ソレイユさがみ

セミナールーム（メイン会場）

セミナールーム2（サブ会場）※12時まで



居場所「ホッと」は、サポステの若者たちが日々集い、さまざまな活動を行っているベースキャンプ。
展示などでホッとの活動を紹介！

ボランティアセンターからのお知らせ！

① デイサービスの日課活動のお手伝いボランティア募集！

デイサービスのご利用者さんと一緒に、チラシを折って箱作りをしてくださる方を募集します。お話をしながら楽しく活動してみませんか？

日 時：水曜日もしくは木曜日 午前 10時～11時30分

場 所：中央区相模原3丁目



② いるかフェス開催します！観覧者大募集！

福祉施設等に出向いて、パフォーマンスを披露してくださっているボランティア団体等の皆さん、一堂に集結します！マジックやフルーツカービング、歌やダンスなど盛り沢山の8団体！参加費無料です！是非お気軽にお立ち寄りください。（事前の申し込みは不要です）

日 時：令和8年1月31日（土）開場 13:30 開演 13:45～閉演 16:00

[詳細\(チラシ\)](#)

会 場：あじさい会館ホール



※ 連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所：電話 042 (759) 7982

相模原市社協 中央ボランティアセンター：電話 042 (786) 6181

怒られた。。



山口尚美画

《今月のイラスト》

このせで特に恐れしきものを順番に並べたことわざ「地震・雷・火事・親父」は、子どもの頃から「なまなせ」と感心していた。「親父」の意味には諸説あるようだが、最近の私は「地震・雷・火事・雪」だと勝手に決めている。

先日、相模原に住む外国人を対象に防災講座が開かれた。ちょうど青森県東方沖でM6.5の地震が起きたばかりだったので、ニコースを耳にした参加者も自分のこととして受け止め、いろいろと考ふべきになつたようだ。ただ南アフリカ出身の参加者からは、「南アフリカでの災害は人だ！」という感想が。傷害事件がたいへん多いとのことで、防災には自然災害だけでなく、人的災害もあるのだと、なんだか複雑な思いだった。

(恒)

ご寄付をありがとうございました

皆様のご寄付は当協会の運営に有効かつ大切に使わせていただきます。

<11月の寄付者>

8名の方からご寄付をいただきました。

<11月の寄付金>

総額41,390円でした。



編集後記

今年も「ぼらんていあ通信」を愛読いただきありがとうございました。広報委員会は新しいメンバーに恵まれ、また多くの方々に取材させていたゞく機会をいただき、おかげで「ぼらんていあ通信」も委員会メンバーも、少しづつではあります但成長しているのではないかと感じています。

そんな思いを抱きながら迎えていた2025年12月末です。来年もどうぞよろしくお願ひいたします。よい年をお迎えください。